

京成本線荒川橋梁架替事業の進捗状況① (R7年2月末時点)

- 足立区側アプローチ部(1工区)において、京成関屋駅ホーム移設工、盛土撤去の仮設工、高架橋等を施工しています。
- 河川部(2・3工区)において、橋脚の変状対策工及び鋼管矢板基礎工を施工しています。
- 葛飾区側アプローチ部(4工区)において、盛土撤去のための仮設工(土留杭等)【夜間工事】を施工しています。
- 令和7年1月末時点の買収部分(アプローチ部)における用地取得率は、約95%です。



【1工区】高架橋構築(基礎工)



【2工区】変状対策工(鋼矢板)



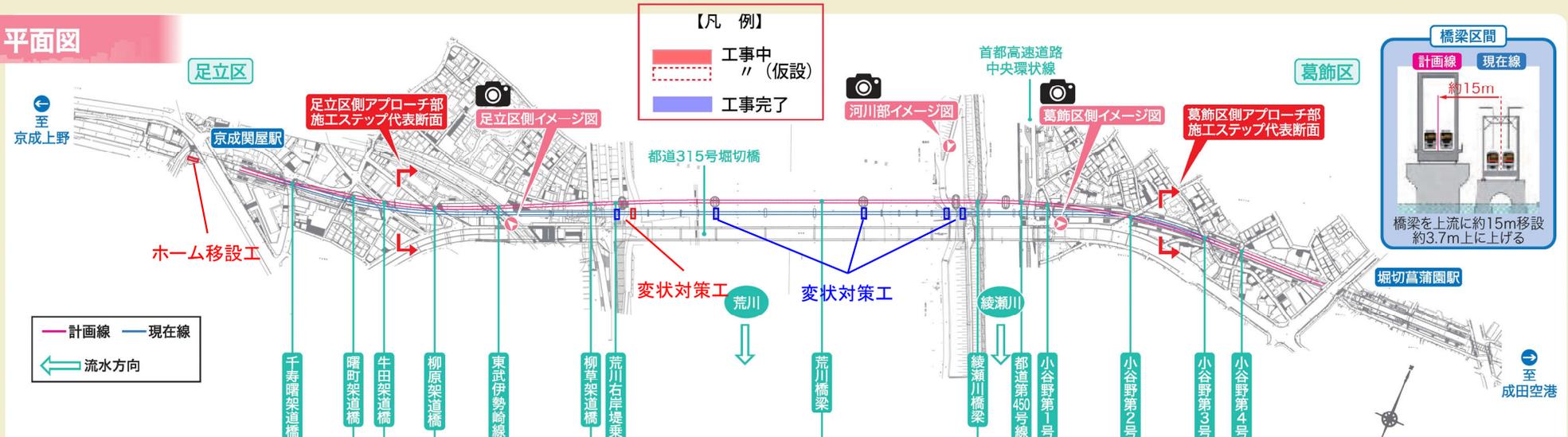
【3工区】鋼管矢板基礎工



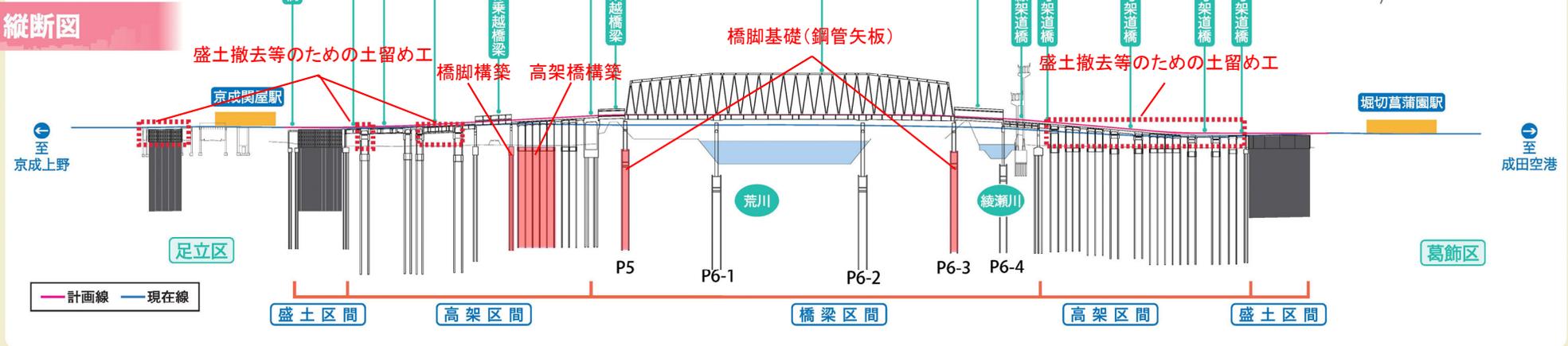
【4工区】盛土撤去の仮設工(土留杭等)

京成本線荒川橋梁架替事業の進捗状況② (R7年2月末時点)

平面図



縦断面図



足立区側 京成関屋駅～荒川右岸堤アプローチ区間



可能な限りロングレールの採用やレールの重量化を実施し、鉄道騒音・振動の低減に努めます。

河川部 荒川右岸堤防～綾瀬川橋梁



河川内の橋脚が2基で、鉄道のトラス橋としては国内最大径間長(193m)となり、河川への影響を最小限とします。

葛飾区側 綾瀬川橋梁～堀切菖蒲園駅アプローチ区間



可能な限りロングレールの採用やレールの重量化を実施し、鉄道騒音・振動の低減に努めます。